

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 4 年 1 月 11 日 (2022.1.11)

【公表番号】特表 2020-509442 (P2020-509442A)

【公表日】令和 2 年 3 月 26 日 (2020.3.26)

【年通号数】公開・登録公報 2020-012

【出願番号】特願 2019-528056 (P2019-528056)

【国際特許分類】

G 0 5 B 19/042 (2006.01)

B 0 3 C 3/40 (2006.01)

B 0 3 C 3/68 (2006.01)

G 0 5 B 19/05 (2006.01)

【F I】

G 0 5 B 19/042

B 0 3 C 3/40 A

B 0 3 C 3/68 Z

G 0 5 B 19/05 S

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 3 年 11 月 24 日 (2021.11.24)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

建物換気設備の複数の電気集塵機用の制御エレクトロニクスであり、  
少なくとも 1 つのマスタ機器 (1) およびノード機器 (2) を含み、  
各前記電気集塵機に前記ノード機器 (2) が接続可能であり、  
前記マスタ機器 (1) および前記ノード機器 (2) が計算ユニットを備え、  
前記マスタ機器 (1) あるいは各前記マスタ機器 (1) に前記ノード機器 (2) の 1 つ  
の列 (3) または前記ノード機器 (2) の複数の列 (3) が接続可能であり、各列 (3)  
において第 1 のノード機器 (2) が付属の前記マスタ機器 (1) に接続可能であり、前記  
列 (3) の前記ノード機器 (2) が互いに直列に接続されるように、前記列 (3) におい  
て、追加のノード機器 (2) が、先行のノード機器 (2) に接続可能であり、前記マスタ  
機器 (1) が、接続された前記 1 つの列 (3) の前記第 1 のノード機器 (2) の先行機器  
あるいは接続された前記複数の列 (3) の前記第 1 のノード機器 (2) の先行機器であり、

列 (3) の各前記ノード機器 (2) に場所番号が割り当てられ、

1 つの前記マスタ機器 (1) あるいは複数の前記マスタ機器 (1) の前記計算ユニット  
が、構成モードの中で各接続された列 (3) の 1 つの前記第 1 のノード機器 (2) の前記  
計算ユニットに構成プログラムを実施させるために配設され、その構成プログラムは：

前記先行機器の場所番号を受け取り、それ自体に 1 値上昇した場所番号を割り当て、前  
記ノード機器 (2) に保存し、

後続のノード機器 (2) が接続されているかどうかを確認し、そうである場合、前記後  
続のノード機器 (2) の計算ユニットに構成プログラムを実施させるために配設される建  
物換気設備の複数の電気集塵機用の制御エレクトロニクス。

【請求項 2】

前記接続された電気集塵機の符号化を伝達するために各前記ノード機器（２）が１つまたは複数のセンサを備え、前記センサの単数の出力信号から、あるいは前記センサの複数の出力信号から前記接続された電気集塵機の符号化を決定するために前記構成プログラムが付加的に配設されることを特徴とする請求項１に記載の制御エレクトロニクス。

【請求項３】

１つの前記マスタ機器（１）あるいは複数の前記マスタ機器（１）が接続された前記ノード機器（２）に前記電気集塵機のための電源電圧を供給し、各前記ノード機器（２）が電源電圧を前記ノード機器（２）から接続された前記電気集塵機に伝達するためのガルバニックアイソレータを備えることを特徴とする請求項１または２に記載の制御エレクトロニクス。

【請求項４】

各前記電気集塵機が設定されたサイズを有し、イオン化段階およびコレクタ段階を含み、各前記電気集塵機の制御はイオン化段階を通して流れるイオン電流およびコレクタ段階に印加される高電圧直流の設定によって行われ、

前記少なくとも１つのマスタ機器（１）が建物制御機器（４）と接続可能であるかまたは建物制御機器（４）の部分であり、

前記少なくとも１つのマスタ機器（１）が前記建物制御機器（４）によって伝達された制御信号またはそこから派生した制御信号が前記ノード機器（２）に伝達され、

各前記ノード機器（２）が、付属する前記電気集塵機のために設定されるべき前記イオン電流を前記伝達された制御信号を基に、および接続された電気集塵機の任意のサイズおよびまたは前記コレクタに印加する前記高電圧直流を前記伝達された制御信号を基に決定するために配設されることを特徴とする請求項１～３のいずれか１項に記載の制御エレクトロニクス。

【請求項５】

前記ノード機器（２）に伝達された前記制御信号が中に前記電気集塵機が配置された換気管を通して流れる現在の空気体積流量のための計量基準であることを特徴とする請求項４に記載の制御エレクトロニクス。

【誤訳訂正２】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】０００７

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【０００７】

マスタ機器およびノード機器の最適な形態は個々にまたは組み合わせて実現可能な以下のような特徴を内容として含む、つまり

１．単数のあるいは各マスタ機器および各ノード機器は計算ユニットを備え、機器は次のように形成される：マスタ機器にあるいは各マスタ機器に、ノード機器の１つまたは複数の列が接続可能であり、各列では第１のノード機器が付属するマスタ機器に接続可能であり、列のノード機器が互いに直列に接続されるように、列の追加のノード機器がそれぞれ先行のノード機器に接続可能である。そのときマスタ機器は接続された１つの列の第１ノード機器に先行する、あるいは、接続された複数の列の第１ノード機器に先行する。列の各ノード機器には明解な場所番号が割り当てられる。単数のマスタ機器あるいは複数のマスタ機器の計算ユニットは構成モードの中で各接続された列の１つの第１ノード機器の計算ユニットを起動させ構成プログラムを実施するために配設され、構成プログラムは：

その先行機器の場所番号を受け取り、それ自体に１値だけ上昇する場所番号を割り当て、ノード機器に保存し、

後続ノード機器が接続されているかどうかを確認し、そうである場合、後続ノード機器の計算ユニットを起動し構成プログラムを実施するために配設される。

２．電気集塵機は例えば永久磁石によって成形される符号化を含む。符号化を捜査するためにノード機器は有利に１つまたは複数のセンサを備え、構成プログラムは付加的に単数

のセンサの出力信号からあるいは複数のセンサの出力信号から接続された電気集塵機の符号化を決定するために配設される。

3．各ノード機器はノード機器から接続された電気集塵機への電源電圧の伝達のためのガルバニックアイソレータを備える。これはPCT特許申請である特許文献1に記載された原則に準拠した電気集塵機のイオン化段階およびコレクタ段階の制御を可能にする。